

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市麻生スポーツセンター	評価対象年度	令和5年度
事業者名	あさおスポーツムーブメント共同事業体 〈代表〉 株式会社コナミスポーツ 代表取締役 室田 健志 東京都品川区東品川四丁目10番1号 〈構成員〉 イオンデイト株式会社 支社統括本部 関東支社横浜支店 代表者 支店長 良知 勤	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	麻生区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	18,552	19,442	19,045	20,620	18,737	19,879	23,560	21,217	17,507	18,213	19,807	22,917	239,496	
【感染防止対応】 令和5年5月以降、感染防止対応としての利用制限等は撤廃。現状残っている対応は、入口の非接触型体温計と消毒液の設置、有酸素マシン間のパーティション設置、マシン汗拭き用タオルの個別貸出、トレーニングマシン使用後の消毒、体操器具の使用後の消毒。														
収支実績	費目		②予算額	③決算額	備考									
	I 収入の部													
	1	指定管理料	43,420,000	42,689,222	うち空調新設に伴う増額・原油価格・物価高騰の補填1,396,222円									
	2	利用料金収入	39,430,000	38,134,000	個人利用・団体利用									
	3	教室事業収入	32,288,000	29,411,000	スポーツ定期教室									
	4	物販等販売収入	5,092,000	2,327,000	物販、自販機手数料等									
	5	その他収入	2,639,000	437,000	運動サポート等									
	(収入計)		122,869,000	112,998,222										
	II 支出の部													
	1	人件費関係	70,583,000	63,790,000	人件費(社員、契約社員)、賃金(アルバイト)、諸謝金、旅費交通費									
	2	事業関係経費	20,405,000	32,598,000	委託費(教室指導)、使用料及び賃借料(教室用品リース)									
	3	管理運営経費	31,881,000	24,615,000	光熱水費、本社経費、消耗品費、租税公課、修繕費等									
	(支出計)		122,869,000	121,003,000										
III 収支(収入と支出の差)		0	-8,004,778											
サービス向上の取組	<p>○年末年始の開館日を延長し、利用機会の増加を図った(12/29は291名、1/3は210名が利用)。</p> <p>○大体育室利用再開に合わせ、4月よりバドミントンラケット、卓球ラケットの無料貸し出しを開始した。</p> <p>○Wi-Fiの館内アクセスポイントを増設し、最も要望が多かった観覧席での接続がスムーズとなった。</p> <p>○区内のスポーツ情報を発信する「あさおスポーツねっと」について、新規登録や活用の呼び掛けを積極的に行い、掲載内容の充実を図った。</p> <p>○デジタルサイネージの内容を定期的に更新し、市のイベントなども含め、常に新しい情報を提供した。</p> <p>○スポーツデー利用者にヒアリングし、バドミントンシャトルの販売を開始した。</p> <p>○障害者スポーツ指導員の資格を1名が取得し、資格保持者が4名となった。</p> <p>○利用者がトレーニングの成果を気軽に確認できるよう、月初に無料測定日を設定した。</p> <p>○旧年度の取組結果を参考に種目を柔軟に変更するなど、より利用者ニーズに沿った教室事業を展開した(春季教室より2教室追加、1教室廃止)。</p> <p>○子ども向け教室と同枠で女性向けのヨガ等の教室を実施するなど、参加しやすい教室設定を心掛けた。</p> <p>○定員に空きがあるすべての教室で一日体験を行い、一年間で111名が利用した。</p> <p>○定期教室の達成感向上のため、チアリーディング、ヒップホップ、新体操、フラダンスの各教室にて、定期教室最終日に発表会を実施した。</p> <p>○館から働き掛けを行い、ヒップホップとチアリーディングの合同発表会を実施した。</p> <p>○利用者ニーズの把握のため、11月～12月に利用者アンケートを実施し、406名から回答を得た。</p> <p>○スポーツの日記念事業において、小田急電鉄(株)と協働し、元オリンピックによる子どもバレーボール教室を開催した。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブと連携して「わくわくイベント」を開催するなど、団体支援に加え多くの区民に対してスポーツに親しむ機会を提供した。</p> <p>○麻生区スポーツ推進委員会の協力により、誰もが楽しめるニュースポーツ教室を定期開催した。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3(0.6)	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【利用者満足度】</p> <p>○事業計画に則り利用者へのアンケート調査を実施し、利用者に対して回答を積極的に働きかけた結果、回答数が前年度の204件から406件へと増加した。</p> <p>○アンケート調査の結果、利用者満足度は昨年度とほぼ同水準であった。</p> <p>○麻生区役所に直接連絡が入った苦情・意見については即座に共有しているが、早急に対応を検討し、必要な措置を講じた。</p> <p>○「お客様の声BOX」の設置を継続し、要望等に対する回答を作成の上、掲示板に掲示後ファイリングし、利用者が容易に閲覧できるよう入口付近に設置した。</p> <p>【事業成果】</p> <p>○利用者アンケートでは、様々な設問から、施設や事業ごとに利用者の満足度を把握するよう努めた。</p>					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3(0.6)	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3(0.6)	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3(0.6)	2.4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>【効率的・効果的な支出】</p> <p>○スタッフのマルチジョブ化を進め、繁忙期等において様々なスタッフが柔軟に対応できる体制づくりに努めた。</p> <p>○一括調達により消耗品費を削減するなど、多くの支出項目で計画を下回った。</p> <p>【収入の確保】</p> <p>○スポーツデーや教室の実施内容・方法の見直し、新たな教室の開催、リピーター獲得を狙ったスタンプラリーの実施、販売物品の見直し等に取り組んだ結果、多くの収入項目で前年度を上回ったが、事業計画の数字には届かなかった。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】</p> <p>○全スタッフに対して金銭取扱いに関する研修を実施した結果、会計・経理に関する不備等はなかった。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4(0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】</p> <p>○年末年始の開館日を延長し、利用機会の増加を図った(12/29は291名、1/3は210名が利用)。</p> <p>○大体育室利用再開に合わせ、4月よりバドミントンラケット、卓球ラケットの無料貸し出しを開始した。</p> <p>○Wi-Fiの館内アクセスポイントを増設し、最も要望が多かった観覧席での接続がスムーズとなった。</p> <p>○区内のスポーツ情報を発信する「あさおスポーツねっと」について、新規登録や活用の呼び掛けを積極的に行い、掲載内容の充実を図った。</p> <p>○デジタルサイネージの内容を定期的に更新し、市のイベントなども含め、常に新しい情報を提供した。</p> <p>【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】</p> <p>○利用者がトレーニングの成果を気軽に確認できるよう、月初に無料測定日を設定した。</p> <p>○スポーツデー利用者にヒアリングし、バドミントンシャトルの販売を開始した。</p> <p>【適切なサービスの提供(教室事業)】</p> <p>○スポーツクラブを運営する代表企業のノウハウを活用し、以下のような取組を行った。</p> <p>○旧年度の取組結果を参考に種目を柔軟に変更するなど、より利用者ニーズに沿った教室事業を展開した(春季教室より2教室追加、1教室廃止)。</p> <p>○子ども向け教室と同枠で女性向けのヨガ等の教室を実施するなど、参加しやすい教室設定を心掛けた。</p> <p>○定員に空きがあるすべての教室で一日体験を行い、一年間で111名が利用した。</p> <p>○定期教室の達成感向上のため、チアリーディング、ヒップホップ、新体操、フラダンスの各教室にて、定期教室最終日に発表会を実施した。</p> <p>○館から働き掛けを行い、ヒップホップとチアリーディングの合同発表会を実施した。</p> <p>【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業)】</p> <p>○総合型地域スポーツクラブと連携して「わくわくイベント」を開催するなど、団体支援に加え多くの区民に対してスポーツに親しむ機会を提供した。</p> <p>○麻生区スポーツ推進委員会の協力により、誰もが楽しめるニュースポーツ教室を定期開催した。</p> <p>【業務改善によるサービス向上】</p> <p>○利用者ニーズの把握のため、11月～12月に利用者アンケートを実施し、406名から回答を得た。</p> <p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <p>○麻生区役所に直接連絡が入った苦情・意見については即座に共有しているが、早急に対応を検討し、必要な措置を講じた。</p> <p>○利用形態や運営方法、サービスの提供内容等を工夫したところ、前年度に比べ施設稼働率が向上した。(館全体の稼働率:令和4年度80.6%→令和5年度83.3%)</p>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3(0.6)	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	3(0.6)	4.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3(0.6)	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 【適正な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理、担当者のスキルアップ】 ○施設統括スタッフに加え施設管理スタッフを含めて定例会を開催することで所管課との情報共有体制を強化しており、定例会以外でも随時電話やメールにより情報共有を行っている。 ○年間を通じて計画的に研修等を実施している。 【安全・安心への取組】 ○心肺蘇生法やAED操作について、スタッフ全員に資格取得を義務付け、予定どおり達成した。 ○緊急時に総括責任者が不在であることを想定した役割分担の決定など、危機管理体制の強化を図った。 ○施設内でも比較的危険度の高いトレーニング室にはスタッフ2名を配置し、特に初回使用時の説明に力を入れたほか、機器のメンテナンスを定期的実施した。 【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減】 ○個人情報保護規定を策定の上、全スタッフを対象に年4回の個人情報保護理解度テストを実施するなど、実効性を確保する取組を行った。 ○区内在住者を積極的に採用しており、通勤時間の短縮に効果があった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3(0.6)	3.6
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ○施設・設備の修繕についてはトイレの水栓交換、2階観覧席手摺補修作業、駐車場フラップ板不動作対応等、必要に応じて整備を行い、快適な環境づくりに努めた。 ○建物・設備の保守管理については、計画的に実施することで安心安全な利用につなげた。 【外構・植栽管理、備品管理】 ○計画的な植栽管理の実施により、快適な環境づくりに努めた。 ○適正な備品管理を実施している。					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	かわさきパラムーブメントに関する取組			1
	(評価の理由) ○「かわさきパラムーブメント」の理念に則り、麻生区スポーツ推進委員会と連携したニュースポーツ教室を毎月第2土曜日に実施した。 ○7/17開催のあさおスポーツまつり、10/9開催のスポーツの日記念事業イベントでニュースポーツの体験会を開催するなど、誰もがスポーツに楽しめる、参加できる運動機会を提供した。 ○市所有のボッチャセット等、パラスポーツ用具の貸出と保管を担い、地域におけるパラスポーツの振興に協力した。				

5. 総合評価

評価点合計	62.2	評価ランク	C
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>○今回の評価は3年次目となる。新型コロナ感染症による利用制限がなくなり、大体育室の工事が終了したことから、ほぼ通常どおりの事業実施となった。結果として年間の利用者数は昨年度に比べて増加し、年間を通じて各種サービスを安定的に提供したことで、スポーツを楽しむ機会や区民の健康づくりに貢献した。</p> <p>○指定管理期間が折り返しを迎えて経験を積み、旧年度の取組結果を参考に種目を柔軟に変更するなど、より利用者ニーズに沿った対応を行うことができた。一部の教室では、ターゲット層を見直し、内容や名称を変更することで、年間利用者数が前年比3倍弱に増加したのもあり、民間スポーツクラブを多数運営する代表企業のノウハウを活かすことができた。</p> <p>○施設運営の経験を積んだことにより、苦情・要望等は減っており、対応も誠実に行っている。</p> <p>○スポーツ推進委員と連携した「ニュースポーツ教室」の定期開催、総合型地域スポーツクラブと連携した「わくわくイベント」の開催など、地域団体との連携を行った。</p> <p>○計画的な修繕を実施することで、利便性の向上、安全で快適な環境づくりに努めた。</p>

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>○年間利用者数はコロナによる利用制限のあった前年度までに比べて大幅増加となったが、コロナ前の水準(年間約25万人)には及んでいない。今後も利用者ニーズを把握しながら施設の利用提供方法やサービス内容について創意工夫を行い、多くの方に利用していただけるよう努めること。</p> <p>○苦情の総数は減っているものの、スタッフの態度や対応に関する苦情が寄せられているため、引き続き従業員教育に努めること。</p> <p>○従来の広報手段では届かない層に向けた手法を実施するなど、創意工夫に努めること。また、チラシ等広報物作成の際には、文字の大きさや色遣い等について誰でも読みやすいユニバーサルデザインを心掛けること。</p>
--